



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう



<http://www.kyoseidp.kyoseidagakujo.gakou/>

竹の子は、真っすぐ、しなやかに、育つ

今年のゴールデンウィークは、昭和の日がある前半の飛び石連休と、憲法記念日やみどりの日、こどもの日がある後半の4連休でした。ニュースによると、日本全国の行楽地は、大勢の人出で賑わったようです。

さて、始業式・入学式からちょうどひと月がたち、桜の代わりにハナミズキが満開を迎え、コナラの木々の緑も深まっています。たった4週間ほどでの移り変わりですから、植物たちの生長の速さには驚かされます。

先日、テレビの情報番組で、筍（たけのこ）の特集をしていました。春が旬の野菜の代表といえる食材で、4月30日の給食にも、採れたての筍を使った「筍ご飯」が登場して、美味しく頂きました。そして、このメニューの中に、分量としては、ひと欠片くらいの少量ですが、本校の竹林で採れた筍も食材として使用してみました。栄養士さんと調理員さんが皮を剥いてみると、食べられるところは僅かだったようです。やはり、農家さんが丁寧に育てるように、栄養豊かな土づくりからして育てているわけではないので、当たり前ですね。



給食：たけのこご飯

竹の生長は速く、モウソウチクの場合、農林試験場による調査では、一日で119cm伸びた記録があるとのことです。1~2ヶ月ほどで、10~20mほどになるそうです。植物は、茎や枝の先端に成長点（細胞分裂をして伸びていく場所：3年生の理科で学習します。）があり、茎や枝のさきだけが、どんどん伸びていきます。しかし竹は、体のしくみが少し違います。空洞の幹（竹は、稈（かん）と呼びます）には、一定間隔に「節（ふし）」があり、この節ごとに成長点があります。

この節は、筍のころからすでにあり、それらが一斉に生長するので、幹全体が一気に伸びていきます。そして節で連結する構造は、空洞なのに丈夫で、潰れたり、折れたりせず、弾力性に富み、強い雨風をしなやかにかわすことができます。

生物の成長には栄養が必要ですが、筍にはまだ葉はなく、自分で養分をつくることができません。しかし竹は、地面の中で地下茎という部分で、他の仲間と繋がっています。極端な言い方をすると、竹林の竹が全て繋がっていて、先に育った先輩の竹たちが、後輩の筍たちに栄養分を与えて、その生長を支えてくれています。そうやって竹林は、何十年もあるいは100年以上も続いています。すごい仕組みですね。

人もそれぞれ自分の心と体の中に「成長点」を沢山もっています。そして学校では、各教科や総合・道徳・特別活動などの学習、学校・学年行事、学級活動、生徒会・専門委員会活動、さらに部活動と、同時に沢山の学びを、年代の異なる仲間と、協力しながら経験し、成長をしていきます。

そう思うと、学校は、筍がすくすく育つ、竹林のように思えます。敷地内に、竹を植えている学校は、あまりないと思います。中庭に竹を植えた経緯はわかりませんが、生徒の皆さんの成長の姿を重ねたのかもしれませんね。

皆さん、自分の目標に向かって「真っすぐに」、強い雨風を「しなやかに」かわす若竹のように育ってくれることを願います。



SDGsで、竹はサステイナブル（持続可能）な素材として注目されています。しかし、整備が放棄された竹林は、環境悪化の社会問題になっています。本校が、地域の皆さん之力を得て、素晴らしい教育活動を行っているように、竹林にも人の手が入り、筍たちが生長できるように環境を整えてあげることが大切なのですね。

■部活動拠点校が始まります。

～水泳部・硬式テニス部～

清瀬市教育委員会では、「部活動の地域連携・地域移行」に向けた事業として、令和5年度より検討を始め、令和6年度からは検討委員会に、有識者及び保護者、地域の方々にも参加頂き、議論を深め、今後の方向性について検討を進めています。そして、本年度はその第1歩として、本校の水泳部とテニス部が、希望する他校生徒を受け入れる「拠点校方式」としての運用を始めました。

これは、3月下旬に、市教育委員会より周知がありましたが、各校の部活動の縮小により、在籍校に希望する部活動がない生徒に、その活動の機会を確保するという目的で実施されます。

この取組は前例のない事業であり、東京都内でも実施している市区町村は、まだ多くなく、清瀬市でも課題を検討しながら、すすめており、今後は他校の部活動での実施などの拡充を検討していくことになります。

本校の部活動に、他校の生徒が放課後に来校し、参加をする形になりますので、ご理解ください。また併せて本年度より、市内全小中学校で、民間施設を利用した水泳指導となり、本校でも10月の水曜日に実施します。水泳部においても、民間施設を利用しての練習となります。不便な点も多くありますが、ご理解と、ご協力ををお願いいたします。



硬式テニス部



水泳部 民間施設で練習中

■清瀬第五中学校生徒の皆さんの活躍のご紹介

【水泳競技】

全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会

・女子4×100mフリーリレー 第7位 3年生



【剣道】

第60回関東小学生剣道錬成記念大会

・第3位 1年生

※家庭配布版では、生徒氏名をご紹介しています。

■放課後「自習室」開室中！ 5/7(水)～13(火)

学校支援本部

《月火木金→放課後～17:00、水→放課後～16:00》

5月の連休が明けると、すぐに1学期中間考査期間に入りました。放課後の部活動の練習は休止期間となりましたが、その時間を使って、学校支援本部の方々が中心となって、「自習室」を開室して下さっています。

そして、明治薬科大学の学生さん方が、ボランティアとして、学習支援に来てくれています。

初日は、7名の学生ボランティアさんが参加下さり、16名の生徒が利用して、国語や英語、数学の勉強をしていました。2日目は33名の生徒が利用して、4名の大学生と1名の高校3年生(卒業生)がボランティアに来て下さいました。基本は自習ですので、図書館の学習室のように、一人で学習に向き合う空間ですが、学生ボランティアがいらっしゃるときは、遠慮せずに質問をして、教えてもらうことはOKです。地域の皆さんも、五中生の学習を応援してくださっています。ありがとうございます。



●1学期期末考査期間にも、実施予定です！！

6/18(水)～24日(火)の平日、放課後～17:00(水曜日は～16:00)